

ご来場ありがとうございました!

10月22日(日)、亀岡運動公園広場にて『ええやんこの街!笑顔でつながろうハートフェスタ2023』を開催いたしました。ハートフェスタは、障害のある人も、ない人も、楽しい一日を過ごしながら「ともに地域で暮らす」を感じていただく場としてこれまで毎年秋に開催してきましたが、ここ3年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、実に4年ぶりの開催となりました。

当日は、暑いぐらいの秋晴れのもと、たくさんの方々の来場いただき、改め、ハートフェスタというイベントが市民の方々に浸透していたことを実感しています。

各事業所のステージ発表では、元気に踊る姿や素敵な歌声、たくさん笑顔がステージを盛り上げました。フィナーレでは会場の皆さんと一緒に「ビリーブ」を合唱して、会場がみんなの歌声で一体になりました。

模擬店や今回初めての企画となったキッチンカーも大盛況で、お昼過ぎには完売のお店が続出するくらいでした。

今回のハートフェスタでも来場していただいたみなさんに楽しく過ごしてもらうこと、メンバーの元気な姿をみてもらうことができた一日だったのではないのでしょうか。

改めて平和とはこのような平凡な日常の一日一日の小さな積み重ねを大事にしていった先にあるのではないかと、そんな思いが湧いてきます。

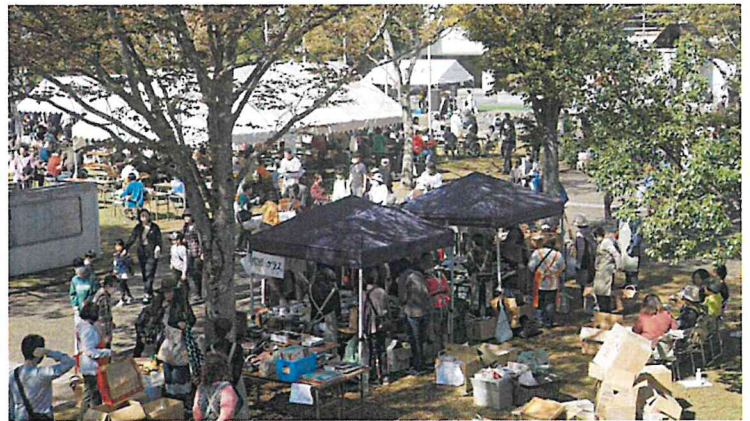
これからも、「ええやんこの街!」といえる地域づくりを、色々な人たちとつながりながら進めていきたいと思えます。

ご来場くださった皆様、ご協賛いただいた皆様、ボランティアの皆様、紙面をもちまして、お礼を申し上げます。

本当にありがとうございました!



第二かめおか作業所のステージ発表



会場は多くの方で賑わいました



Maiden Laneダンスサークルさんのダンスパフォーマンス



ふれあい広場ではストラックアウトやヨーヨー釣りがあり、お子様連れに大人気!

地域とつながる



ハートフェスタ2023

たくさんの



亀岡高等学校書道部のみなさんのパフォーマンス



デイセンターぼれぼれのステージ



なかまの店等模擬店もお客様でいっぱい!



かめおか作業所のステージは新メンバーの挨拶から



第三かめおか作業所のステージ



ワイワイわ〜い!さんのライブ



キッチンカーも大変盛況でした!ありがとうございました!

職員に聞きました!

支援員はどんなお仕事?

〜第二かめおか作業所編 その2〜



第二かめおか作業所で働く職員に、支援員はどんな仕事なのか、楽しいこと、大変なことをインタビューしました!

Q. 亀岡福祉会で働くようになったきっかけを教えてください

A. ずっと障害者福祉の仕事をしてきたのですが、亀岡福祉会とは高校生の時からハートフェスタなどでボランティア活動を通して関わってきたこともあり、職員としてお世話になることにしました。

短期雇用のつもりで入職しましたが、気が付けばもう9年目になります(笑)

Q. 支援の仕事はどうですか?

A. メンバーさんが何かを伝えようとされているのは分かるのですが、「何を」なのかを正確に汲み取る(理解する)ことが難しい時があり、もどかしさを感じます。長年支援を続けていますがそれがずっと課題としてあります。

Q. 小学生と保育園児のお子さんを育てながらフルタイムで働いている西山さんですが、両立は大変ですか?

A. 何とかかなります! 子供のことで急に休みが必要になっても無理をきいてもらっていて、とても助かっています。

Q. 今後の目標などありますか?

A. ヒミツです!!

私たちと一緒に働いてみませんか?

- 【時給】 1030円〜 ★未経験歓迎
- 【待遇】 年度末賞与あり、通勤手当あり、マイカー通勤可
- 【勤務地】 社会福祉法人亀岡福祉会が経営する作業所・グループホームです。すべて亀岡市内です!
- 【応募】 まずはお気軽にお電話ください。質問・相談などもお気軽に!!
- 【お問い合わせ先】
社会福祉法人亀岡福祉会
亀岡市蕨田野町佐伯大門30-1
☎0771-24-2596 (担当/井内)



メンバーの歯磨き支援の一コマ

Q. 求人応募を考えておられる方にひと言お願いします
A. メンバーさんも職員も面白い人たちがばかりなのでぜひ一度遊びに来てください。

時

亀岡福祉会に入職して三十二年、今年度で定年退職の年齢となった。私が入職した時にはすでにハートフェスタの前身「作業所まつり」は毎年行われていた。最初のかめおか作業所の作業室で、次は苗秀寺さんの駐車場をお借りして、タコ公園で、ガレリア亀岡建設前の広大な土地で、と少しずつ作業所から地域へと出ていき、その分来ているだけのお客様も増え、コロナの前には現在の亀岡運動公園広場に3千人(主催者発表)もの人々に来ていただけた。毎年のイベントになっていった。

毎年地域の皆さんには協賛、販売、来場など大変お世話になっている。障害のあるメンバーたちも、まつりに向けて出し物の練習や自主製品づくりで大張り切りで、そのいきいきとした表情に、準備で大忙しの職員も力をもらって一緒にがんばっている。このイベントを作り上げるのに忘れてはならない仲間、障害のあるメンバーのご家族の存在。模擬店やバザーの運営を一手に引き受け、笑顔で力強くイベントを支えてくださっている。亀岡福祉会が誕生して四十数年。いつの時も共に歩んでくださった。そんな家族の皆さんも、メンバーも、職員も高齢化している今、がんばらなくても普通に暮らしているそんな社会になってほしいと切に願う。